

人むすびの場

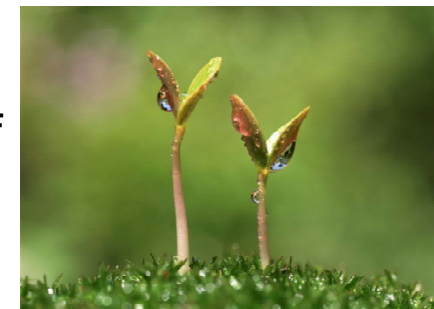
第25回テーマ

“分野を超えたつながりから生まれるもの”
～「人むすびの場」を事例にして～

日時	平成22年7月29日(木) 午後7時～9時
会場	スペースU
企画運営	“人むすびの場”づくり企画運営チーム

人むすびの場”をともに創りませんか？

- 「むすひ(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。場には、不思議な力が宿ります。何かが生まれ行くエネルギーに満ちています。
- 「人むすびの場」は、ご参加の皆さん全員が「場づくり人」として、思いと知恵を分かちあう「対話と創発の場」です。
- 他者との対話を通じて見えてくる自分自身の思いへの気づき、次なるステップへのヒント、自然と生まれるつながりの発展の機会としていただけたらと思っています。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなり、様々な問題を抱えています。でも、世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- 今の自分の一歩が、世の中がよくなることにつながる。そんな互いの思いを分かち合うことから、「和・環」となって、何かが変わることを信じている人々の集まりにしたいと思います。
- 「人むすびの場づくり企画運営チーム」へも是非ご参画ください。
- 新しいアイデア・企画の提供など、もろもろご意見をお待ちします。



プログラム

- 19:00 ◆オリエンテーション 人むすびの場とは
“人むすびの場”づくり企画運営チーム 高重 和枝
- 19:05 ◆スピーチ
「分野を超えたつながりから生まれるもの」
～「人むすびの場」を事例にして～
木村 裕美さん(きむら ひろみさん)
(中小企業診断士／早稲田大学 都市・地域研究所 客員研究員)
- 19:50 ◆人むすびカフェ
ファシリテーター 角田 知行さん
- 20:55 ◆本日のまとめ
21:00 終了
交流会(うさぎ)

「分野を超えたつながりから生まれるもの」

～「人むすびの場」を事例にして～

ゲスト 木村 裕美さん(きむら ひろみさん)

(中小企業診断士／早稲田大学 都市・地域研究所 客員研究員)



- 中小企業診断士として商店街や商業者支援、早稲田大学まちづくりや協働推進などを仕事にしています。
- 「人むすびの場」での多彩なスピーカーと参加した「場づくり人」のネットワークにより、分野を超えたつながりの波及効果があります。
- 第12回「街・社会に一人ひとりの力を活かすために」で、吉澤卓さんとの出逢いがありました。吉澤さんは横浜開国博Y150の市民参加ディレクターをしており、ブランド構築のワールドカフェを行う「イマジン・ヨコハマ」の事務局でした。
- 第14回「吉澤さんと行くヨコハマ・ヒルサイド」で「人むすびカフェ」と「イマジン・ヨコハマ」のコラボレーションが実現し、その流れの中で、沼田真一さんと再会し、現在、西川口の歓楽街にできた「コ・ラポ西川口」(早稲田大学早田宰研究室)で一緒にしています。
- 2009年9月から始まった「コ・ラポ西川口」は、違法風俗店一掃後の戦略的なまちづくりを目指し、産学官民が協同した調査研究、社会実験拠点です。早稲田大学と地域、企業、行政が協働して、地元に着目したアクションリサーチ、提案型の調査研究、多様な主体による創造都市を目指した新しいまちづくりの社会実験を推進しています。
- 第18回「離島と東京を結ぶ」で海士(あま)町観光協会職員で「離島キッチン」を運営している佐藤喬さんと知り合いました。埼玉には海がないので、高速冷凍技術を活用した寒シマメ(スルメイカ)の肝醤油漬け丼の試食販売をしていただくと、西川口においしい『離島』がやってきた！と評判になりました。その後、海士町大島高等学校の生徒が販売のインターンシップに来たりもしました。
- 第8回の「アートでつながる」の中村政人さんのちよだアートスクエアや第20回テーマ「若者の支援のしかた」の番野和敏さんのトキワ荘プロジェクトは、現在の取り組みの参考にさせてもらっています。
- 地元川口での他のご紹介事例をご紹介します。「つなぐ、感じる、考える」試みとして地域資源を発掘し、感性に訴えかけ、考えさせられたのが地域をつなぐ商店街発信のアートです。「樹モール／川口銀座商店街(振)燦ぎやらりー」では、座談会やミニコミ誌の発行、地域資源を発掘したアートのとして現在アートプロジェクト「Between ECO&EGO」、まちを周遊して楽しむイベントとして「eぎやらりー川口」が39アート(3月9日に39団体が参加)で文化を推進しています。
- 自分自身も地域住民として「生活の場」として川口を捉え直し、「つなぐ、感じる、考える」をどう考えていくか、「人むすびの場」での出会いの活用・発展を考えていきたいと思えます。

【木村裕美さん 経歴紹介】

中小企業診断士。早稲田大学 都市・地域研究所客員研究員

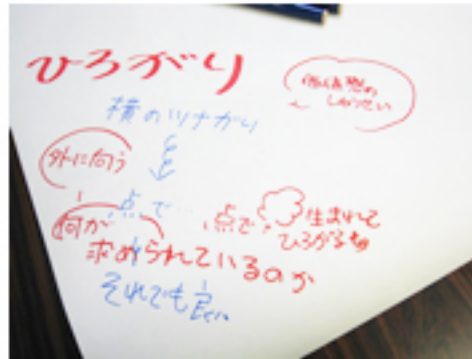
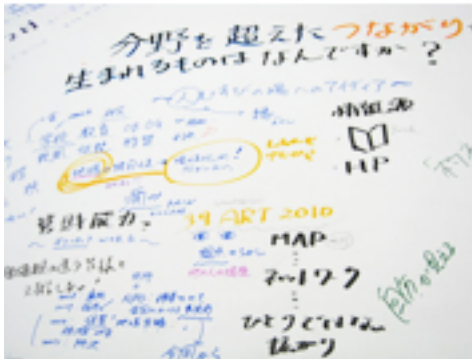
独立行政法人 中小企業基盤整備機構 中小企業大学校講師

フリーライター、アパレルメーカーのマーケティング室やコンサルティング会社の勤務等を経て、現在のまちづくり、商店街活性化、企業経営等の支援に至る。在住している埼玉県川口市では、産学官民のアート関連協働事業の運営支援等も行っている。

『地域協働の科学;まちの連携をマネジメントする』(成文堂)共著



人むすびカフェ



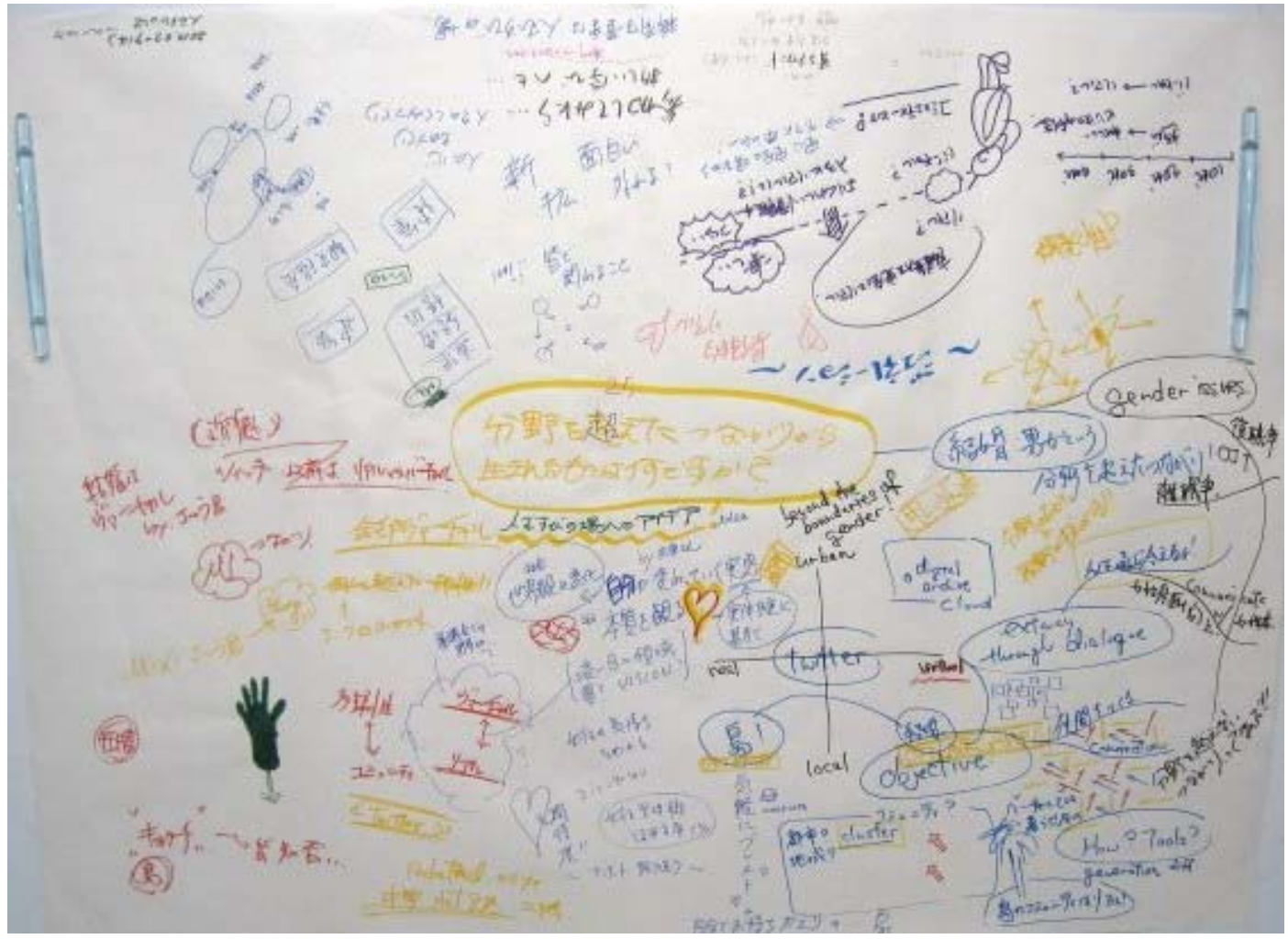
人むすびカフェ

「分野を超えたつながりから生まれるものは何ですか？
人むすびの場へのアイデア」



人むすびカフェ

「分野を超えたつながりから生まれるものは何ですか？
人むすびの場へのアイデア」



人むすびカフェ

「分野を超えたつながりから生まれるものは何ですか？
人むすびの場へのアイデア」



人むすびカフェ

「分野を超えたつながりから生まれるものは何ですか？
人むすびの場へのアイデア」



本日の感想①

* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・価値観の多様性によるつながりを大切にする
- ・感覚や感性の異なる方々との出会いは面白いけれど多少理解に時間がかかるなあと
いうこと、社会はけっこう分断化されているんだと感じました。
- ・「人むすびの場」は「ふるさと」のようです。いただくものはここに来ると、帰ってきた
ようなほっとしたところと、赴く(おもむく)場に行く勇氣。
- ・自分と同世代以外とのワールドカフェを行うことによる多様性の楽しみ
- ・人むすびの場での出会いが、具体的に動き出している事実
- ・自分の知識、価値観の異なった人の話は新鮮だった。
- ・つながりを生み出す新しい要素が必要 遠くを見ること
- ・世界観の変化、自分が変わっていく実感
- ・「分野」立場をおきかえる指摘 →ひとりひとりがいろいろな立場を持っている
いろいろな立場をつなげると個人が変わる
- ・つながりから生まれるもの・・・出会い無限大だと思いました。
- ・人には自ら地域を再生する力がある。
- ・今の時点ではまとめられそうにない。
- ・テーマによって発想がいろいろ展開していくものですね。
- ・情報発信、自分をさらけ出さないと深い人間関係にならないし、情報は入ってこない。
- ・「分野」は既になくなっていく場合が多い。
- ・「分野」垣根がない。メディアも、教育も、商売も、ある一つの「方向性」を目指すべきだ
と感じました。

本日の感想②

* 一番、印象に残ったこと(キーワード)はどんなことでしたか？

- ・「分かり易い」「機会をとらえる」
- ・ベクトル、経済学理論、バーチャル・リアルというキーワードが印象に残り、とても考え深い時間でした。
- ・特になし
- ・“生活にアートを”
- ・リアル⇄バーチャルのコミュニケーション ワールドカフェアプローチによるシンクロ、新たな対話法
- ・金に置き換ええない思考(なかなか難しいけど、幸福度指数を作りたいですね)
- ・real and バーチャル
- ・ジェネレーション リアル バーチャル
- ・リアルとバーチャルの意味
- ・「分野をこえる」→ 分野ということ自体がなくなっているのではないか
- ・たくさんあったので思い出せないほどですが、点のようなものが(点でしかなかったものが)ある出会いで変わっていく
- ・自分が広がる 役所が作るものはニセモノ
- ・分野がなくなっている 発信者と受け身
- ・プロでないとながりは作れない。
- ・分野自体がなくなっている。
- ・受け身では何も始まらない。
- ・「リアル」って何？

本日の感想③の1

* その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。

- ・人むすびカフェの参加者によるつながりの現実を見ることができて感動した。
- ・色んな分野の方々と考えを共有するのは？分かち合うのは今の時代とても大切だと思います！
- ・学生さんが面白かったです。
- ・高重様、久しぶりに参加できました事、今もころから嬉しく思います。
このご縁をつなげていくことで、私にもどんなに心強くこれたのか、紹介して下さった仲間のご縁にもあらためて感謝したいと存じます。
- ・ゲストスピーカーの方が話された内容とあまり結びつかなかったのは残念かなあと思いましたが、逆にテーマを縛られずに話せたので楽しかったとも言えます。
- ・参加者(過去を含む)のうち了解を得て、名簿を作成し開示する
→人むすびが加速します。
- ・時間が合わず、久しぶりの参加となりましたが、とても、刺激になりました。
遅れてきたのが残念でした。
- ・多様な価値観
- ・たくさんのコラボ事例が生まれていた。嬉しい！

本日の感想③の2

*** その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。**

- ・さて、これからどうするか、みんなが魅力を持てるつながりって難しいなあ。
- ・緊張してまいりましたが、あくまでもゆるやかな感じが安心感たっぷり、本気で話せたと思います。
- ・立場の違いを超えて新たな日本を作りたい。
- ・ワールドカフェを体験できたこと。自分としてはうまくとけ込めなかった。何が生まれるのだろうか。
- ・過日、NHKのクローズアップ現在で出ていた「プラットフォーム」をつくるということではないでしょうか。離島キッチンもプラットフォーム。私にとっては今は自治体学会かな。
- ・話を聞くことで新たな考え方と知ることが出来た。また自分が話すことで自分の考えがまとまったと思う。
- ・スピーカーとして“まよい”がある内容になってしまい申しわけありませんでした。
- ・他の会合的なものとのコラボを試してみたいです。人むすびの場×〇〇 みたいな。

皆さん、一緒に場をつくってくださってありがとうございました。